

修正型通電療法（m-ECT）説明書

●ECT（Electro Convulsive Therapy）は、通電し脳を電氣的に刺激することによって脳内に発作を誘発し、切迫した精神的なあるいは感情的な障害を改善する治療法です。麻酔科医と協力して施行しますので、修正型（modified）を付け、m-ECTと呼んでいます。

●施行方法

通常週に2回、概ね8-12回の施行となります。

●治療の危険

全身麻酔によって施行される治療の中でも最も安全なもの1つです。死亡あるいは重度の障害の危険は5万回に1回程度と報告されています。極めて稀に発生する死亡事故は、通常心血管系の合併症によるものです。

●副作用と合併症

最近起きた出来事の記憶が損なわれることや、日付、友人の名前、社会的な出来事、住所および電話番号などが思い出せないこともあります。こうした記憶障害は数日から数週間間に治まります。知的能力や記憶力に与える長期的な影響はこれまで認められていません。

●治療効果

十分な治療効果が得られますが、必ず特効的な効果がある訳ではありません。他のすべての治療でもいえることですが、短期間に回復する人もいれば、少しずつ回復する人もいますし、まったく効果が見られない人もいないわけではありません。症状が再燃することもあります。

●治療に関する詳細な説明は、神奈川県立精神医療センターで行います。

以上